

## ◆平成25年度クラブ活動の状況

全国高校総合体育大会において弓道部女子個人が3位、全国高校総合文化祭において書道部が努力賞、全国高校ギター・マンドリンフェスティバルにおいて器楽部が努力賞となる等素晴らしい成績を収めているほか、多くのクラブが様々な活躍しています。

### ★今号より各クラブの紹介を順次行ないます★

#### 弓道部

3年 池戸 直人

弓道部は53人の部員で活動してきました。男女学年を問わず仲がよかったので、道場内は笑顔が絶えず、いつもよい雰囲気の中で部活動をしてきました。

私たちは、県大会優勝を目標に、顧問の北嶋晋先生のもと、練習に励んできました。部活動は基本的に毎日放課後に行い、矢を撃たない日をできるだけ作らないようにしてきました。というのも、弓道は一日休むと感覚が鈍ってしまうからです。また、部活動だけでなく、弓道部は自主練習も活発に行ってきました。一人一人が弓道に対して高い向上心を持ち切磋琢磨し、努力してきたから成長することができたと思っています。また、仲間の存在がなければここまで弓道に打ち込めなかったと思います。仲間と共に笑い、悩み、一緒になって考えてきたからこそ続けられたのであり、その存在の大切さを一番強く感じることができました。



#### 書道部

3年 穂苺 祐奈

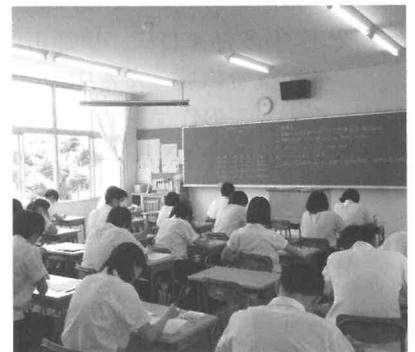
私は昨年富山で行われた総文祭の作品を見てから、私もこんな作品を書いてみたい、自分の力を試してみたいという思いを持つようになりました。今回特別賞を頂いた作品の制作は、昨年の10月から始めましたが、思うように書けず、顧問の先生に何度も指導していただきながら苦しい時期を過ごしました。書道に向き合う時に私が大切にしていることは、自分らしさをいかして表現するという事です。今回のような大作に挑戦することは初めてでした。「鑿宝子碑」の力強い書体を際立たせるために、紙面構成にこだわり、余白の美しさや墨の濃淡に目を向けて枚数を重ねていくことで、今回の作品を書き上げることができました。改めて書道の楽しさを実感しました。今まで書道部と一緒に活動してきた仲間、顧問の先生、家族といった私を支えてくれたすべての人に「感謝」を捧げたいと思います。伊那弥生ヶ丘高校の書道部で活動できたことを誇りに今後も書道が続けていきたいと思っています。(8/27 信濃毎日新聞掲載記事より)



## ◆卒業生の進路状況(平成25年3月)

進路先	進学							就職			その他		合計
	国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	医専専門	他専門	計	公務員	民間	計	浪人	その他	
男	15	60	2	1	3	4	85	2	4	6	19	0	110
女	13	86	4	16	19	16	154	2	6	8	3	1	166
計	28	146	6	17	22	20	239	4	10	14	22	1	276
合格延数	31	319	9	28	35	22	444	4	10	14			

将来の進路を見据え、一人ひとりがしっかりと目標と意欲を持って日々努力しています。また、土曜休業完全実施の中で、休日における生徒の学習の機会の保障と学力向上、進路実現のため、学習室等を利用して「弥生塾」が設置されています。



## 編集後記

おかげ様で会報4号ができあがりました。今年度会報委員として、微力ながら関わらせていただき、有意義な時間を持てたことに感謝いたします。(向山)

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第4号 平成25年9月20日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 小坂博子

〒396-0026 長野県伊那市西町5703 TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題字：花岡多賀(旧姓：北林・高女36回)伊那市西春近在住

印刷：有限会社マスマタ印刷